

## 5. 総会等報告

### (1) 2013 年度地域安全学会総会 報告

#### 1) 2012 年度事業報告

##### ① 理事会の開催

2012 年度は理事会を下記のとおり開催した。

第1回 2012 年 5 月 26 日 (土) (東京)

第2回 2012 年 6 月 15 日 (金) (輪島)、第3回 2012 年 7 月 21 日 (土) (東京)

第4回 2012 年 9 月 8 日 (土) (東京)、第5回 2012 年 11 月 2 日 (金) (静岡)

第6回 2013 年 1 月 26 日 (土) (東京)、第7回 2013 年 3 月 23 日 (土) (東京)

##### ② 総会・春季研究発表会・公開シンポジウムの開催

総会・春季研究発表会・公開シンポジウムを下記のとおり開催した。

日時：2012 年 6 月 15 日 (金) ～16 日 (土)

場所：石川県輪島市文化会館

一般論文発表：31 件

公開シンポジウム

基調講演：宮島昌克 (金沢大学教授)

「2007 年能登半島地震とこれからの地震津波防災」

パネルディスカッション：

コーディネーター：目黒公郎 (東京大学教授)

パネリスト：梶 文秋 (石川県輪島市長)、川端一人 (黒島まちなみ保存会会長)、宮島昌克 (金沢大学教授)

現地見学会：能登半島地震の被災箇所と復興現場の見学 (被災地域の復興を学ぶ)

##### ③ 東日本大震災連続ワークショップ 2012 in いわき

下記のとおり A～D の企画を実施した。

日時：2012 年 8 月 3 日 (金)～4 日 (土)

場所：いわきワシントンホテル椿山荘

A. 東日本大震災特別委員会ワークショップ：34 件

B. 国際交流協定調印式 (日本・韓国・台湾) 及び第 1 回アジア都市防災会議：16 件

C. 東日本大震災シンポジウム「福島復興・いわきの取り組み」

基調講演①「福島県の復興計画」鈴木浩 (福島大学名誉教授)

基調講演②「いわき市の被害概要と復旧・復興計画」新妻英正 (いわき市)

パネルディスカッション

コーディネーター：村尾修 (筑波大学准教授)

パネリスト：福迫昌之 (東日本国際大学教授)、関根一志 (常磐興産 (株))、

赤池孝行 (3.11 被災者を支援するいわき連絡協議会事務局長)、糸井川栄一 (筑波大学教授)

D. 被災地および復興状況見学会

④ 秋季研究発表会の開催

秋季研究発表会を下記のとおり開催した。

日時：2012年11月2日（金）～3日（土）

場所：静岡県地震防災センター

査読論文発表：37件，一般論文ポスター発表：38件

⑤ 地域安全学会論文集・梗概集の刊行

- ・春季研究発表会において「地域安全学会梗概集No.30」を刊行した。
- ・秋季研究発表会において「地域安全学会論文集No.16（電子ジャーナル論文）、No.17（電子ジャーナル論文）、No.18（研究発表会論文）」を刊行した。
- ・秋季研究発表会において「地域安全学会梗概集No.31」を刊行した。
- ・地域安全学会論文集No.17、No.19（2012年度電子ジャーナル）をホームページ上に公開した。

⑥ 地域安全学会論文賞・論文奨励賞・年間優秀論文賞の選出

- ・地域安全学会論文集No.17(2012.7)および地域安全学会論文集No.18(2012.11)に掲載された合計49編の論文を対象として、平成24年度地域安全学会論文賞の審査を行った。審査会における審議の結果、本年度は「該当なし」となった。
- ・地域安全学会論文集No.18(2012.11)に掲載された論文のうち、地域安全学会論文奨励賞の対象となる20編の査読論文に対し審査が行われた。その結果、1編の論文の筆頭著者が選出された。
- ・地域安全学会論文集No.17(2012.7)および地域安全学会論文集No.18(2012.11)に掲載された合計49編の論文を対象として、平成24年度地域安全学会年間優秀論文賞の審査を行った。審査会における審議の結果、本年度は2編の論文が選出された。

⑦ 地域安全学会技術賞の選出

第6回目を迎えた2012年度地域安全学会技術賞は、1件の応募があったが「該当者なし」という結果となった。

⑧ 地域安全学会優秀発表賞の選出

第30回（2012年度）地域安全学会研究発表会（春季）において、31編の投稿論文のうち30編の口頭発表が行われ、うち26編を対象として選考を行った。審査の結果、3名を授賞対象者として選出した。

第31回（2012年度）地域安全学会研究発表会（秋季）において、38編の一般論文のポスター発表が行われ、うち応募登録された11編を対象として選考を行った。審査の結果、2名を授賞対象者として選出した。

⑨ ニュースレター発行とホームページ管理

2012年度はニュースレターNo.79～No.82の計4号を発行し、学会ホームページ上に掲載した。今後、学会の広報活動の柱としてホームページを位置づけ、引き続き内容の充実を図っていくこととした。

⑩ 会員メーリングリストによる情報提供

会員への迅速な情報発信を目指して、メールによる情報配信を行った。個人情報保護を考慮しつつ、効率的な会員サービスと会員管理を進めた。

⑪ 企画研究小委員会研究活動

企画研究小委員会において3テーマについて研究活動を実施した。

⑫ 東日本大震災関連活動

- 1) 福島県いわき市において「東日本大震災連続ワークショップ 2012 in いわき」を開催した。
- 2) 東日本大震災特別委員会ワークショップにおいて「地域安全学会東日本大震災特別論文集 No.1」を刊行した。

⑬ 台湾危機管理学会、韓国防災学会との研究交流

「東日本大震災連続ワークショップ 2012 in いわき」開催時に、地域安全学会、台湾危機管理学会、韓国防災学会の国際交流協定調印式を行った。また、第1回アジア都市防災会議(The 1<sup>st</sup> Asian Conference on Urban Disaster Reduction)を開催した。

⑭ 防災学協会連合組織への参加

第4回連続シンポジウム(2012年5月10日(木))「首都直下・東海・東南海・南海等の地震に今どう備えるか」に重川前会長が参加し、講演を行った。第8回連続シンポジウム(2012年11月29日(木))「日本学術会議主催学術フォーラム「巨大災害から生命と国土を護る一三〇学会からの発信」」に宮野会長が参加し、テーマ3「巨大災害に今どう備えるか」において、地域安全学会による東日本大震災への取り組みについて報告した。報告の概要は『学術の動向』第18巻、第3号(2013年3月)に掲載された。

⑮ シンポジウム等の共催・参加

2012年7月開催の安全工学シンポジウムを共催した。

⑯ 役員選挙の実施

2013年度新役員選挙を実施し、理事12名、監事1名を選出した。

⑰ 法人化に向けた検討

2012年度総会で承認された地域安全学会の一般社団法人化に向けて定款作成を行い、2013年4月1日をもって、一般社団法人として認可された。

⑱ 会員数および年会費納入(2013年3月末)

	会員数	会費納入状況		
		過年度	本年度	次年度
賛助会員	0	0	0	0
正会員	554	44	478	0
学生会員	78	23	74	0

補足:会費の納入について

- 2013 度の会費振込み用紙は 4 月に発送済み。
- 2 月末時点で 2 年連続の未納者は理事会での決定により退会となる。
- 顧問は, 特別会員として会費を請求しない。

## 2) 2012 年度決算

決算に関して、井野監事および翠川監事による監査を受けた。指摘された修正を取り入れた以下の決算報告に対して承認をいただいている。

2012年度地域安全学会決算

収入の部 科目	予算	決算	比較	備考
(1)一般事業				
会費収入	2,580,000	2,804,000	▲ 224,000	正会員5000円×478名=2,390,000円、学生会員2000円×74名=288,000円、過年度入金=264,000円(正会員5000円×44(人年)=220,000円、学生会員2000円×23(人年)=46,000円)
販売収入	50,000	8,000	42,000	梗概集2
小計	2,630,000	2,812,000	▲ 182,000	
(2)総会及び春の研究発表会				
梗概集登録料	250,000	265,000	▲ 15,000	梗概集登録料(ページ数対応5000円/2ページ)
梗概集頒布	120,000	116,000	4,000	一冊4000円×29冊
懇親会費	260,000	172,000	88,000	正会員6000円×26名=156,000円、学生会員2000円×8名=16,000円
小計	630,000	553,000	77,000	
(3)東日本連続ワークショップ				
梗概集登録料	400,000	245,000	155,000	梗概集登録料(ページ数対応5000円/2ページ)
いわき市助成		150,000	▲ 150,000	
梗概集頒布	200,000	64,000	136,000	一冊4000円×16冊
懇親会費	430,000	372,000	58,000	正会員6000円×51名=306,000円、学生会員2000円×33名=66,000円
小計	1,030,000	831,000	199,000	
(4)秋の研究発表会				
梗概集登録料	350,000	280,000	70,000	梗概集登録料(ページ数対応5000円/2ページ)
梗概集頒布	200,000	104,000	96,000	一冊4000円×26冊
懇親会費	340,000	294,000	46,000	正会員6000円×45名=270,000円、学生会員2000円×12名=24,000円
小計	890,000	678,000	212,000	
(5)論文集の刊行				
論文登録料	800,000	1,040,000	▲ 240,000	104名分
論文登録料	1,500,000	1,580,000	▲ 80,000	梗概集登録料(2万円+5000円/2ページ)
論文集頒布	200,000	260,000	▲ 60,000	一冊4000円×65冊
小計	2,500,000	2,880,000	▲ 380,000	
(5)その他				
前期繰越金	2,817,910	2,817,910	0	
雑収入	900	613	287	利息
小計	2,818,810	2,818,523	287	
合計	10,498,810	10,572,523	▲ 73,713	

支出の部				
科目	予算	決算	比較	備考
(1)総務・広報				
1)選挙管理委員会	100,800	0	▲ 100,800	
2)理事会	600,000	667,740	▲ 67,740	会場費、理事交通費(7回開催)
3)総会	150,000	142,172	7,828	案内状等
4)広報委員会				
サーバー・HP運営費	300,000	324,450	▲ 24,450	ホームページ改善費用
5)事務局(経理、会員管理等)				
事務局委託費	600,000	600,000	0	一般財団法人 都市防災研究所
管理用データベース運用費	100,000	100,000	0	一般財団法人 都市防災研究所
送料・振込手数料	150,000	88,429	61,571	切手、インターネットID料金、宅急便
事務消耗品費	100,000	49,823	50,177	
諸経費	400,000	170,595	229,405	雑費(PC修理等)
小計	2,500,800	2,143,209	357,591	
(2)学術・国際				
1)学術委員会				
会場費	120,000	147,570	▲ 27,570	会場費等
学術委員旅費	300,000	577,300	▲ 277,300	委員交通費
論文投稿システム運営費	450,000	756,300	▲ 306,300	投稿サーバー保守等委託費(利用方法の変化により経費増大)
電子ジャーナル論文運用費	300,000	300,000	0	システム運営・改修等委託費
論文集印刷費(CD含む、300部)	1,400,000	1,329,037	70,963	23年度論文集印刷
通信費	30,000	89,490	▲ 59,490	切手代
業務支援作業報酬	100,000	71,400	28,600	3人分
2)表彰委員会				
メダル作成費他	40,000	5,733	34,267	
3)国際交流委員会				
運営費	100,000	0	100,000	
小計	2,840,000	3,276,830		
(3)研究発表会				
1)総会・春季研究発表会				
春季大会梗概集印刷費	250,000	192,780	57,220	梗概集当日配布
事前打合せ旅費	50,000	21,840	28,160	
運営費	300,000	284,006	15,994	現地雑費等
懇親会費	350,000	228,940	121,060	当日懇親会費
2)秋季研究発表会				
秋期大会梗概集作成費	300,000	235,158	64,842	梗概集当日配布
会場設営費(パネル設営等)	300,000	243,600	56,400	ポスター発表用パネル設営
運営費	300,000	177,486	122,514	アルバイト料
懇親会費	400,000	355,278	44,722	当日懇親会費
3)安全工学シンポジウム				
会議旅費	30,000	0	30,000	(都内開催)
共催金	20,000	20,000	0	
4)東日本大震災ワークショップ				
ワーク梗概集作成費	250,000	299,750	▲ 49,750	梗概集当日配布
運営費	300,000	621,427	▲ 321,427	会場費(33万)、視察バス代(17万)
懇親会費	350,000	511,600	▲ 161,600	当日懇親会費
小計	3,200,000	3,191,865		
(4)研究運営				
1)企画研究				
運営費	450,000	0	450,000	
小計	450,000	0	450,000	
(5)その他				
予備費	1,508,010	1,960,619	▲ 452,609	
小計	1,508,010	1,960,619	▲ 452,609	
合計	10,498,810	10,572,523	▲ 73,713	

2013年5月14日

上記の通り収支決算を報告いたします。

地域安全学会  
 監事 井野 盛夫  
 監事 翠川 三郎



貸借対照表  
 地域安全学会 平成24年度 (平成25年3月31日現在)

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
現金	1,438		
銀行預金			
事務局	938,180		
投稿論文	678,048		
一般論文	770,590		
ワーク口座	385,033		
郵便振替	800,100	借入金	
		預り金	
		未払金	1,612,770
未収金	0		
仮払金			
		差引剰余金	1,960,619
計	3,573,389	計	3,573,389

### 3) 2013 年度役員の変更結果

#### (1) 改選対象役員

##### 1) 理事

池田 浩敬	富士常葉大学大学院環境防災研究科
岩田 孝仁	静岡県危機管理部
加藤 孝明	東京大学生産技術研究所
清野 純史	京都大学大学院工学研究科
越村 俊一	東北大学災害科学国際研究所
重川 希志依	富士常葉大学大学院環境防災研究科
庄司 学	筑波大学システム情報系
立木 茂雄	同志社大学社会学部
能島 暢呂	岐阜大学工学部
村尾 修	筑波大学システム情報系
目黒 公郎	東京大学生産技術研究所
矢代 晴実	防衛大学校システム工学群

##### 2) 監事

翠川 三郎	東京工業大学大学院総合理工学研究科
-------	-------------------

以上 13 名

#### (2) 選出役員

規定により以下の理事、監事を無競争で選出した。

##### 1) 理事

池田 浩敬	常葉大学大学院環境防災研究科
岩田 孝仁	静岡県危機管理部
加藤 孝明	東京大学生産技術研究所
清野 純史	京都大学大学院工学研究科
越村 俊一	東北大学災害科学国際研究所
重川 希志依	常葉大学大学院環境防災研究科
庄司 学	筑波大学システム情報系
立木 茂雄	同志社大学社会学部
能島 暢呂	岐阜大学工学部
村尾 修	東北大学災害科学国際研究所
目黒 公郎	東京大学生産技術研究所
矢代 晴実	防衛大学校システム工学群

##### 2) 監事

山崎 文雄 <sup>#</sup>	千葉大学大学院工学研究科
--------------------	--------------

以上 13 名  
(<sup>#</sup>2013 年度新規選出)



## 4) 2013 年度事業計画

### (1) 理事会の開催

2013 年度は理事会を下記のとおり開催する。

- 第1回 2013 年 4 月 13 日(土) 東京(同志社大学東京オフィス)
- 第2回 2013 年 5 月 17 日(金) 男鹿(元湯雄山閣)
- 第3回 2013 年 7 月 20 日(土) 東京(同志社大学東京オフィス)
- 第4回 2013 年 9 月 7 日(土) 東京(同志社大学東京オフィス)
- 第5回 2013 年 11 月 15 日(金) 静岡(静岡県地震防災センター)
- 第6回 2014 年 1 月 25 日(土) 東京(同志社大学東京オフィス)
- 第7回 2014 年 3 月 22 日(土) 東京(同志社大学東京オフィス)

### (2) 総会・春季研究発表会・公開シンポジウムの開催

総会・春季研究発表会・公開シンポジウムを下記のとおり開催する。

日時:2013 年 5 月 17 日(金)～19 日(日)

場所:秋田県男鹿市元湯雄山閣

### (3) 東日本大震災連続ワークショップ 2013 in 大船渡 の開催

日時:2013 年 9 月 21 日(土)～22 日(日)

場所:岩手県大船渡市

- ・東日本大震災特別委員会ワークショップ
- ・懇親会・被災地および復興状況見学会

### (4) 秋季研究発表会の開催

秋季研究発表会を下記のとおり開催する

日時:2013 年 11 月 15 日(金)～16 日(土)

場所:静岡県地震防災センター

### (5) 地域安全学会論文集・梗概集の刊行

春季研究発表会において「地域安全学会梗概集 No. 32」を刊行し、優秀発表賞を選出する。

東日本大震災特別委員会ワークショップにおいて「東日本大震災特別論文集 No.2」を刊行する。

秋季研究発表会において「地域安全学会論文集 No.19、No.20、No.21」を刊行し、地域安全学会論文奨励賞を選出する。

秋季研究発表会において「地域安全学会梗概集 No.33」を刊行し、優秀発表賞を選出す

る。

地域安全学会論文集 No.20(電子ジャーナル)、同 No.22(電子ジャーナル)をホームページ上で公開する。

本年度の論文集(No.19, No.20, No.21)を対象に地域安全学会論文賞および年間優秀論文賞を選出する。

(6) 広報活動の強化と会員管理

サービスの向上を目指して、会員へのメールによる各種情報配信、ホームページによる情報提供、印刷物による情報発信について、各々の機能分化した情報提供を実施する。

(7) 地域安全学会技術賞の選出

表彰委員会において第7回地域安全学会技術賞の選考を行う。

(8) 企画研究小委員会活動

企画研究小委員会において3テーマについて研究活動を実施する。

(9) 国際交流の推進

韓国防災学会、台湾危機管理学会等との交流を推進する。また、第3回国際都市防災会議の準備を行う。

(10) 役員選挙の実施

2014年度新役員の実選を実施し、理事12名、監事1名を選出する。

(11) 東日本大震災に関する支援・研究活動の推進

東日本大震災特別委員会による被災地支援・研究活動の実施、東日本大震災学協会連絡協議会への参画を行う。

(12) 事務局の交代

学会の法人化に伴い、事務局を(財)都市防災研究所から(株)サイエンスクラフトに交代する。

## 5) 2013 年度予算

### 地域安全学会 2013 年度予算

収入の部

(単位:円)

科 目	金額	備 考
(1)一般事業		
会 費 収 入	2,660,000	正会員 500 名、学生会員 80 名
販 売 収 入	50,000	DVD、論文集、梗概集等頒布
小 計	2,710,000	
(2)総会及び春の研究発表会		
梗概集登載料	400,000	10,000×40 編
梗概集頒布	120,000	4,000×30 部
懇 親 会 費	260,000	一般 6,000×40 名、学生 2,000×10 名
小 計	780,000	
(3)東日本大震災連続ワークショップ		
梗概集登載料	275,000	10,000×20 編、5,000×15 編
梗概集頒布	80,000	4,000×20 部
懇 親 会 費	350,000	一般 8,000×40 名、学生 3,000×10 名
小 計	705,000	
(4)秋の研究発表会		
梗概集登載料	350,000	10,000×35 編
梗概集頒布	200,000	4,000×50 部
懇 親 会 費	340,000	一般 6,000×50 名、学生 2,000×20 名
小 計	890,000	
(5)論文集の刊行		
論文査読料	900,000	10,000×90 編
論文登載料	1,500,000	25,000×60 編
論文集頒布	240,000	4,000 ×60 部
小 計	2,640,000	
(6)そ の 他		
前 期 繰 越 金	1,960,619	地域安全学会
雑収入	600	受取利息
小 計	1,961,219	
合 計	9,686,219	

支出の部

(単位:円)

科目	金額	備 考
(1) 総務・広報		
1) 選挙管理委員会	100,800	投票用紙送付・返送切手 80×630×2
2) 理事会	600,000	会場費、理事交通費
3) 総会	150,000	郵送料 80×630、出欠葉書 50×630 等
4) 広報委員会		
サーバー・HP 運営改修費	500,000	
5) 事務局		
事務局委託費	600,000	50,000×12 ヶ月
財務管理委託費	300,000	
管理用データベース運用費	100,000	
送料・振込手数料	150,000	
事務消耗品費	100,000	
諸経費	200,000	印刷費・交通費
小 計	2,800,800	
(2) 学術・国際		
1) 学術委員会		
会場費	120,000	
学術委員会旅費	300,000	
論文投稿システム運用費	450,000	システム運営・サーバー保守等委託費
電子ジャーナル論文運用費	600,000	システム運営・改修等委託費(2 回分)
論文集印刷費	1,400,000	300 部
通信費	30,000	切手代
業務支援作業報酬	100,000	
2) 表彰委員会		
メダル作成費他	40,000	
3) 国際交流委員会		
運営費	100,000	
小 計	3,140,000	
(3) 研究発表会		
1) 春季研究発表会		
梗概集作成費	250,000	100 部
事前打ち合わせ旅費	50,000	
運営費	300,000	講師謝礼・交通費・アルバイト費等

懇親会費	350,000	
2) 秋季研究発表会		
梗概集作成費	300,000	150部
会場設営費	300,000	ポスター発表用パネル設営等
運営費	300,000	アルバイト費、現地雑費等
懇親会費	400,000	
3) 安全工学シンポジウム		
会議旅費	10,000	
共催金	20,000	
4) 東日本大震災連続ワークショップ		
梗概集作成費	250,000	100部
運営費	300,000	
懇親会費	350,000	
小計	3,180,000	
(4) 研究運営費		
1) 企画研究		
運営費	150,000	
小計	150,000	
(5) その他		
地方税等	80,000	
予備費	309,069	次期繰越金
小計	389,069	
合計	9,659,869	

注) 科目間の流用、転用は理事会の承認のもとに行う場合がある。